事項	りんごのモモシンクイガに対する合成し 効期間)	 ピレスロイド剤	川の食入阻止持続期間(残							
ねらい	合成ピレスロイド剤のモモシンクイガふ化幼虫に対する果実への食入阻止持 続期間(残効期間)を調査した結果、薬剤間に違いがあることが明らかになっ たので、防除の参考に供する。									
	各薬剤のモモシンクイガふ化幼虫に対する食入阻止持続期間									
指	薬 剤 名 パーマチオン水和剤 アディオン水和剤	希釈倍数 1,000倍 2.000	食入阻止持続期間 30~36日 9~15							
導	ペイオフME液剤 アグロスリン水和剤 スカウトフロアブル サイハロン水和剤 バイスロイドEW テルスター水和剤	1.000 1,000 2,000 2,000 2,000 1,000	25~30 25~30 20~25 36以上 30~36 9~19							
参	ロディー水和剤	1,000	20~25							
考										
内										
容										
期待される効果	散布体系に適した薬剤の選択が可能にな	る。								
利用上の注意事項	ピレスロイド剤は天敵に対する影響が大きいので、モモシンクイガ、コカク 利用上の注意事項 モンハマキ、キンモンホソガの同時防除を期待できる時期のみに散布し、でき るだけ使用を控える。									
担当	青森県りんご試験場 病虫肥料部	対 象 地 域	県下全域							
発表文献等	平成7~9年度 青森県りんご試験場試験		J							

【根拠となった主要な試験結果】

(平成8年 青森りんご試)

1) ふ化幼虫の食入率 (卵接種3~5日後に調査)

					食及	阻止	持続	期間	(%)	
薬	剤	名	希釈倍数			散る	节 後 日	数		
				0 (当日)	9	15	20	25	30	36日
パーマ	チオン	水和剤	1,000倍	0	0	0	0	0	0	6.7
アディ	オンフ	水和剤	2.000	0	0	7.9	8.7	14.0	15.8	
ペイオ	フM	E液剤	1.000	0	0	0	1.0	0	1.9	3.9
アグロ	スリン	水和剤	1,000	0	0	0	0	0	1.0	4.3
スカウ	トフロ	アブル	2,000	0	0	0	0	2.0	5.4	10.6
サイハ	ロン	水和剤	2,000	0	0	0	0	0	0	0
バイス	ロイ	ドEW	2,000	0	0	0	0	0	0	20.8
テルス	ター	水和剤	1,000	0	0	7.9	14.9	16.8	33.3	
ローラ	ディオ	火和 刹	1,000	0	0	0	0	1.0	5.1	10.4
ダーズ	゙バン	水和剤	1,000	14.8	5.7	77.2	50.5	41.8	57.6	
無	処	理	_	56.0	3.7	78.8	45.2	52.6	78.8	43.2

注) 1区当たり4~5個のりんご果実を用いた。供試ふ化卵数は区によって一定ではなく、77~108であった。

2) 処理区ごとの果実内生存幼虫割合 (卵接種13~15日後に調査)

				-	果実	内生	存幼.	虫割台	÷ (%)	
薬	剤	名	希釈倍数	散 布 後 日 数						
				0 (当日)	9	15	20	25	30	36日
パーマ	チオン	水和剤	1,000倍		_			_	_	85.7
アディ	オンフ	水和剤	2.000			75.0	100	78.6	80.0	
ペイオ	- フ M :	E液剤	1.000	_	_	_	100	_	50.0	100
アグロ	スリン	水和剤	1,000	_	_	_	_	_	100	100
スカウ	トフロ	アブル	2,000	_	_	_	_	50.0	100	80.0
サイバ	ロンフ	水和剤	2,000	_	_	_	_	_	_	_
バイス	、ロイ	ドEW	2,000	_	_	_	_		_	95.0
テルス	、ターフ	水和剤	1,000	_	_	37.5	86.7	81.	85.3	
		く和剤	1,000	_	_	_		100	60.0	80.0
ダース	<i>、</i> バンフ	水和剤	1,000	31.3	88.5	67.9	76.5	90.	63.2	
無	処	理	_	89.3	69.5	70.7	97.9	73.	89.7	75.6